



= タブレット等を活用した「学校教育自己診断アンケート」結果 =

1月下旬の学校教育自己診断を実施するにあたりご協力ありがとうございました。今年度もタブレット端末等を活用して、各家庭にてアンケートを実施し、一括集計しました。

これらの結果から、今年度の教育活動の成果と課題が見えてまいりました。次年度以後の取り組みの参考とします。生徒回答内容の中で、特に皆さんの関心が高いであろうと思われる質問項目を抜粋して、その概要を掲載させていただきました。

また、「生徒用」「保護者用」のアンケート結果の詳細につきましては、柏原中学校ホームページのトップページに掲載しております。

<特筆すべき質問項目のうち、「よくあてはまる」「ややあてはまる」の肯定的な回答数を加えたものを紹介しています。>

- ・「学校に行くのが**楽しい**」では、**84%**でした。
- ・「学校での**友達関係**は、うまくいっている」では、**92%**でした。
- ・「学校では、**部活動**に積極的に取り組んでいる」では、**71%**でした。
- ・「先生は、**いじめ**など私たちが困っていることがあれば、迅速に対応してくれると思う」では、**72%**でした。

<近年、SNSに関するトラブルが増加傾向にあり、加害者が特定しきれず解決が難しいケースが増加しています>

- ・「**授業**は、わかりやすく楽しい」では**79%**でした。
- ・「**学校行事**等では、クラス、学年、学校全体で協力して取り組んでいる」では、**94%**でした。
- ・「学校では、**人権**の大切さ、**命**の大切さについて学ぶ機会が多い」では、**87%**でした。
- ・「学校内では、先生や友達、来客の方に**あいさつ**が自然に交わされている」では、**89%**でした。
- ・「教室や廊下をきれいに**掃除**している」では、**87%**でした。

<学校教育自己診断結果 学校全体の考察>

学校全体では、生徒設問20項目において、肯定的回答（80%以上：11項目、70%以上7項目）が多く、全体的に高い数値でした。保護者でも、25項目中13項目で、70%以上が肯定的回答となり、全体的に概ね高い数値でした。しかし、前年度より肯定的回答の項目が減少し、全体的に「わからない」という回答が増加している。この実態を学校として真摯に受け止め、色々な機会や配布プリントなどを活用しながら、説明や報告をより丁寧にしていく必要性を感じているので改善していきたい。

令和5年5月より新型コロナウイルス感染症の分類が変更されたのに伴い、様々な学校行事を「コロナ禍」前に戻して実施しました。そのおかげで、「体育祭」では3年生男女全員と2年生・1年生が呼応して励まし合うような感動的な場面を見ることもできました。また、2年生での「職業体験学習」も無事復活でき、貴重な体験ができました。しかし、2学期後半からはインフルエンザの流行により「学級閉鎖」「学年閉鎖」「学校閉鎖」などの措置を何度となく取らなくてはいけない事態になってしまいました。その影響で何度も7時間授業を導入しなければいけなくなってしまった学年も出てきてしまいました。この様な厳しい環境下でも、学校教育で子どもたちに、どのような力をつけるのかを考えていく必要があります。そして、そのために必要な資質・能力を育成していかなければなりません。今後も本校の教育活動にご理解、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。